

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公表番号】特表2006-524473(P2006-524473A)
 【公表日】平成18年10月26日(2006.10.26)
 【年通号数】公開・登録公報2006-042
 【出願番号】特願2006-509669(P2006-509669)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/445 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 7/173 6 4 0 A

H 0 4 N 5/445 Z

G 0 6 F 17/30 3 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月2日(2007.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンテンツの推薦をユーザーに対して表示する方法であって、
 チャンネル変更イベントの検出に応じて、コンテンツの推薦を提供するステップと、
 新たに選択されたチャンネルに関連されるコンテンツ又は推薦されたコンテンツを前記
 ユーザーに選択的に視聴させるステップと
 を含む方法。

【請求項2】

前記コンテンツの推薦を提供するステップが、評価エンジン、推薦エンジン及びプロフィール・エンジンの少なくとも1つを用いて行われる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記コンテンツの推薦を提供するステップが、ローカルのコンテンツまたはリモートのコンテンツの少なくとも1つの推薦を生成することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

利用可能なコンテンツの、ユーザーが知覚可能な表示物を提供する方法であって、
 複数のユーザーが視聴するコンテンツをモニターするステップと、
 複数のユーザーが視聴する前記コンテンツに基づいて、システムの状態の変化時に行わ
 れる、前記ユーザーが知覚可能な表示物を生成するステップと、
 前記ユーザーに、前記ユーザーが知覚可能な表示物と対話させるステップと
 を含む方法。

【請求項5】

前記モニターするステップが、複数のユーザーの一部が視聴するコンテンツを検出する
 こと含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記システムの状態の変化は、クライアント装置の起動を含む、請求項5に記載の方法

。

【請求項 7】

前記システムの状態の変化は、ユーザーに関連されるセットトップボックスの起動又はテレビジョン視聴システムの起動を含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記システムの状態の変化は、チャンネル変更イベントを含む、請求項 5 に記載の方法

。

【請求項 9】

前記対話させるステップが、ユーザーが操作するリモートコントロール装置により生成されるユーザー信号に応答することをさらに含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 10】

コンテンツの推薦を視聴者に対して表示するためのシステムであって、
視聴者がチャンネルを変えるときを検出する手段と、
チャンネル変更イベントの検出に応じてコンテンツの推薦を提供する手段と、
前記視聴者に前記推薦されたコンテンツを選択させる手段と
を備えるシステム。

【請求項 11】

利用可能なコンテンツの、ユーザーが知覚可能な表示物を提供するシステムであって、
利用可能なコンテンツの少なくとも 1 つの推薦を受け取る手段と、
システムの状態の変化に応じて、前記推薦されたコンテンツの、前記ユーザーが知覚可能な表示物を生成する手段と、
前記ユーザーに、前記ユーザーが知覚可能な表示物と対話させる手段と
を備えるシステム。

【請求項 12】

前記システムの状態の変化は、クライアント装置の起動を含む、請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記システムの状態の変化は、ユーザーに関連されるセットトップボックスの起動又はテレビジョン視聴システムの起動を含む、請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記システムの状態の変化は、チャンネル変更イベントを含む、請求項 11 に記載のシステム。